

JUNGIDO

道義の桜、咲いて100年

1898 =  = 1997

1998年は創立100周年です

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 道義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所2-11-1
 TEL077-524-4295・FAX077-524-1732 (同窓会事務局)
 発行日/平成9年11月5日
 編集人/広報部会・谷口啓司
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.11

CONTENTS

募金活動いよいよ開始	1
平成9年度総会報告	1
新しい百年に向けての飛翔	2
百周年に寄せて	2
募金についてのお勧めとお知らせ	3
同窓会詳細報告	3
記念行事式典部会・百年史記録部会より	4
周年記念同窓会	4
会員名簿ご協力のお願い	5
会費納入のお願い	7
膳所高NEWS	8

募金活動いよいよ開始

会員各位のご理解とご協力を……



膳所高等学校同窓会会長
宇野 勝

滋賀県立膳所高等学校同窓会会員の皆様方には、日々
 愈々ご健勝にて、それぞれの場においてご活躍の御事
 と拝察いたします。

さて、母校膳所高校も来年、平成10年(1998年)
 4月に、創立以来満百周年を迎える事になりました。
 この間幾多の俊秀の先輩、また同窓生がそれぞれの時
 代に国家社会の発展のため貢献されてきました。建物
 も現在は鉄筋コンクリート建築物になっておりますが、
 我々の時代(昭和10年、20年代)は、木造校舎で
 校門を入ると右前方に奉安殿があり必ず敬礼をして図
 書館横の道を通り各々の教室に向かったものでした。
 現在の膳所高施設には大きく2つの問題点がありま
 す。その第一は、校舎全体の老朽化状態及び、特に物
 理化学関係の特別教室、準備室の充足率は必要授業時
 数の1/2であり、また本年度より学校教科の中に理数科
 新設等により、教室の不足度は愈々増大しつつあり、
 校舎の全面的な増改築が必須となってまいりました。

第二の問題点は、運動場が狭隘である事でありま
 す。生徒一人当たり面積は県下高校中最低。その総面積は
 16,000㎡であり、その狭い運動場で陸上競技部
 等は校外の運動場を借用、野球・ラグビー・サッカー・
 テニス各々がひしめき合って練習に励んでいるのであ
 ります。しかもそれぞれ立派な成績を挙げてきました。
 野球のボールがバックネットを飛び越えて近隣の住宅
 に被害を出している事も最近一再ならず聞いておりま
 す。練習に励む生徒に重大な人身事故発生のおそれのあ
 る日々であります。

第二運動場要請の声は、数年来ありましたが、県当
 局においてもこの間の事情はよく熟知され、本年度大
 変なご配慮のお陰をもって、本校より200mの近距
 離の所で、25,000㎡の第2運動場を本年6月に
 確保していただき、今後これの整備と共に、前記校舎
 の増改築も百周年記念を期に実施していただくべく、
 県当局に要請いたしているところであります。
 さて、同窓会といたしまして「創立百周年を目前
 にして」数年来、百周年事業実行委員会を同窓会、P
 TA、学校当局が三者一体となり検討開始。その総会
 において具体的に6つの事業部会を編成する事の了承

を得、それぞれの部会において役員一同事業計画の検
 討、事業推進を図るため大変な努力を重ねてきており
 ます。
 その成果は各部会活動報告として同窓会報(JUN
 GIDO)において報告を続けてきておりますが、計
 画事業を実施するための必要資金の募金推進を開始す
 る運びとなっております。

- 募金額は、総額1億円。その予算配分の内訳は、
- (1) 記念行事式典部会 650万円
 - (2) 学校行事への補助 100万円
 - (3) 百年史記録部会 1200万円
 - (4) 組織名簿部会 50万円
 - (5) 募金推進部会 1000万円
 - (6) 広報部会 1000万円
 - (7) 諸経費 900万円
 - 小計 4000万円
 - (8) 環境施設整備部会 6000万円
- トレーニングハウスの建築及びトレーニング機器
 の整備。この資金については、県教育委員会及び
 国税局の確認を得て所得控除措置の対象となる予
 定。

右記の一般募金の4000万円については既にお願
 い文章を発送しましたが、環境施設整備事業費の60
 00万円の募金は大阪国税局に所得控除の対象にし
 いただけよう諸手続の後、近日中に文書を発送いた
 します。何卒会員皆様方のご理解を得て同窓会全員
 が喜び合える百周年記念でありたいものと冀っており
 ます。

我等の膳所中学、膳所高校は、義務教育終了後、自
 らが選んで入学、卒業した第一の母校であります。百
 年の歴史を経てきた母校の更なる、末永い充実発展の
 事業に寄与出来る事に、我々は誇りと喜びを持って記
 念の諸事業を進めて行くことではありませぬか。
 何卒同窓会各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。
 また、皆様方の愈々のご健勝ご発展をお祈り
 申し上げます。



百周年広報看板(膳所高等学校校庭)

来年度の総会(は5月6日)

平成10年度より定時総会の開催日が
 5月の第2土曜日に変更になります。
 多数のご参加をお待ちしています。

平成9年度 総会報告

平成9年度同窓会定時総会が、去る5月11
 日(日)午前10時より大津プリンスホテルにて開
 催されました。
 宇野敏一副会長の開会宣言により開会。総
 合同会は羽野先生(校友課課長)
 会は校歌斉唱、物故者黙祷と続き、宇野勝同
 窓会会長、武原博学校長のごあいさつをいた
 だきました。その後本校在職10年以上の職員
 に感謝状が贈呈され、来賓の紹介がありまし
 た。

総会は、飯田勝一常任理事長を議長に選出
 した後、議事に入り、以下の議事が満場一致で
 議決承認されました。

- (1) 平成8年度会務報告
- (2) 平成8年度会計報告並びに会計監査報告
- (3) 平成9年度事業計画並びに予算案
- (4) 役員改選
- (5) その他

議事終了後、膳所高11回卒、西尾利二氏(大
 津市民病院内科医長)が「成人病(生活習慣病)
 という演題で講演をされました。
 その後、懇親会に移り約150名の同窓生
 が旧交を温めました。尚、総会の参加者は17
 3名でした。

(詳細は第3面)

同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました平成9年度の同窓
 会会費は、平成9年9月末日現在、

総額 **12,364,000円**

となっております。前払いしていただいている方
 については、当年度分を振替充当して、上記金額
 に集計させていただいております。
 会員の皆様のご理解ご協力に感謝いたします
 と共に、ますますのご支援をよろしく願いま
 します。

今回、平成9年度会費が未納の方には振替用
 紙を同封させていただきましたので、ご納入の
 ほどよろしく願います。本会報と行き
 違いにご納入いただいた方には、悪しからずご
 容赦ください。会費納入方法の詳細については
 7ページをご覧ください。

新しい百年に向けての飛翔

まずは第二グラウンドの建設



学校長

武原 溥

一年後に迫った創立百周年記念は、本校の歴史を振り返り、先輩たちが残された数々の業績を総括して祝うと共に、次の百年に向けての力強い飛翔の踏切板になるよう期待して止みません。

私には、本校の次の百年に向けての出発に当たり、今、目指したいことに次の三つがあります。

第一は、施設の拡充整備です。今の本校のグラウンドは1万6千平方メートルですが、本校の生徒数に比べてあまりにも狭く、また、校舎は老朽化している上に余裕の教室がほとんどなく、今日学校教育で必要とされている多様な選択科目の設置や分割授業は、ほとんど取り入れる余裕がありません。こうしたことから、これからの本校の最大の課題は、第二グラウンドの建設と校舎の全面的改築です。

第二は、教育内容の改革です。今我が国は教育改革の最中ですが、国の改革の趣旨に添って、画一的な教育を改め、各人の個性を重視し、一人一人の生徒の特性を存分に伸ばさせ、21世紀の国の内外で活躍するリーダーを養成する教育課程を編成し、積極的にそれを推進する必要があります。

第三は、膳所高魂の確立です。過去百年の間に先輩たちが築かれた伝統的精神を精査し、生徒達が自主的に逞しさをもちながら、心豊かに成長することを支える校訓の確立が望まれます。

これらの内、第二の目標については、一昨年度普通科の教育課程を見直し改編しましたが、さらに本年度からは理数学科を導入し、これを契機に全校的な活性化に努めている処です。また、第三の目標については、現在校内に校訓検討委員会を置き、膳所中時代にあった「至誠道義」「自主力行」を含め、21世紀に通ずる不易な本校の校訓となるものは何か、検討しています。

ところが、第一の目標は学校の努力だけではど

うにもなりません。幸いにして、県当局は本校の実情を十分にご理解くださり、このほど校門から徒歩約2分ほどの場所に、2万5千平方メートルの第二グラウンド用地を確保してくださりました。今行われている旧施設の撤去の後、来年度の中頃くらいまでに、グラウンドとしての整地、防球ネットや管理棟等の施設を整備していただけることになっています。学校としては、ここに野球、サッカー、テニス、ソフトテニス等の班活動を移すとともに体育の授業にも利用し、また、ここに百周年記念事業として寄付していただくトレーニングハウスをフル活用し、伝統の文武両道の実践に努めて参りたいと思っています。この上は、引き続き校舎改築が早急に実現するよう切望するのみです。

県への「寄付採納届」について

環境・施設整備部会の学校側委員より

このたび、創立百周年を記念して、滋賀県立膳所高等学校創立百周年記念環境・施設整備推進委員会（推進委員長 宇野勝同窓会長）より、「トレーニングハウス」の建築、及び、「トレーニング機器の購入」を内容とする、県・学校への寄付採納をいただくことになりました。8月18日に県に届けを提出し、9月26日に県から「寄付受納予定証明書」をいただきました。

この寄付採納の内容の決定までには、環境・施設整備部会のお世話になりました。これまでの本同窓会報でその経緯の一端をご推測いただけたと思いますが、諸般の事情からなかなか決定することが出来ませんでした。特に、第二グラウンド取得問題や、更にそれに続いての校舎改築問題など、将来像との関わりの上で、ご寄付いただく物を決めねばならなかったために、決めかねたわけでした。しかし、学校長の第二グラウンド設置決定に関する経緯説明のとおり、6月12日の県教委の第二グラウンド取得計画の発表があったあと、環境・施設整備部会で急ピッチで話し合いを進め、役員会等のご了解を得て、寄付採納届を提出していただいたわけでした。

計画は、6千万円の予算で、第二グラウンドの一角に「トレーニングハウス」を建てていただき、その中に最新の「トレーニング機器」を購入していただくというものです。学校としては、基礎体力の向上施設・設備として、クラブや体育授業等に幅広く活用させていただきたいと思っております。

本来ならこの号で、建物の計画平面図等を掲載してご披露申し上げたいのですが、第二グラウンドの造成完了予定も来年度の半ば以降であり、学校として更に慎重に内容検討して行きたいところもあり、現在の利用計画の一部変更もありえますので、本号での掲載はお許しをいただきたいと存じます。次号では確定した利用計画をお示しできるかと存じます。

『百周年に寄せて』



創立百周年への思い

小島 信三

大正9年卒業
(膳中18回)

私は、大正9年、膳中卒、現在95歳です。私の入学した当時は、雨漏れのある木造校舎、スポーツの出来ない瓦礫のグラウンドを思い出します。現在新築の校舎グラウンド等を見て、その立派さに驚きと喜びを痛感しました。名門膳所高の名声を益々天下に広める事を熱望します。

メモリアル母校

清水仙太郎

昭和14年卒業
(膳中37回)

母校に対する思いは恩師、クラスメイト、部活等にも深いものがあるが、学び舎や校庭の樹木等にも及ぶ。年を経て母校を訪ねた場合思い出として残るのは、学舎、校庭の樹木で、残念ながら今の膳所高校にはその思いを寄せるものは何もない。メモリアルなものを望む。

「絶対平和への四段階」の全目標の実現のために

小牧 久時

昭和19年卒業
(膳中42回)

大戦下の膳中で学びました。世界恒久平和さらには「絶対平和への四段階」の全目標の実現をめざし国際地球環境大学を創立し名誉総長に就任しました。創立百周年の母校よりの人材により全人類・全生物さらに全次元・全時空の救いの実現を祈ります。

百周年をお祝いして

二井林一哉

昭和22年卒業
(膳中45回)

ご創立百周年を衷心よりお慶び申し上げます。本校創立後大略中学校50年高等学校50年の丁度節目に近い1947年に卒業させて戴いた小生としては、諸先輩とも後輩の方とも均等にご交誼願って行きたいものと念願しております。

辛抱強く、

高度な教育内容把握の第一歩

片山 恵子

昭和39年卒業
(膳所高12回)

家庭、学校、地域で、あらゆる公害を防止し、一生涯学べる環境を整え、よい製品作りが出来るよう極限までよく考えて、誇りある行動を実践し、豊かな人間愛を培う、そんな生き方を目指したいものです。

募金についてのお願いとお知らせ

本年8月末から9月初めにかけて「創立百周年記念事業実行委員会」から募金をお願いを皆様のお手元にお届けいたしました。かねてより本紙紙上で再々お知らせしてまいりました募金が始まりました。募金をお願いしてお届けしてから早速多くの同窓生の皆様から続々と募金をしていただいております。紙上を借りまして御礼申し上げます。

これから再々この種のご案内が皆様のお手元に届くことと存じますが、お間違ひ・ご混乱されませんようご説明させていただきます。

8月にお願ひいたしました募金は「一般募金」と申しまして、この募金は使途が限定されておりません。それで、百周年記念誌等、「百周年」を記念する様々なものに使われます（これは領収証を税務署に提出されましても寄付金控除（所得控除）の対象とはなりません）。この一般募金は4千万円を目標としております。

この後11月頃に「寄付金控除対象募金」も開始されますが、この募金についてご説明いたします。6月中旬に一部新聞報道されましたように、県のご努力により膳所高校が天津紡績跡地に第二グラウンドを確保できることになりました。そこで創立百周年の最大の記念事業として、この第二グラウンド内にトレーニングハウスを建設し、トレーニング機器を併せて寄付することになりました。その資金を右記の名称で募金いたすわけです。

これは、「創立百周年記念環境・施設整備推進委員会」が、募金・建設し、学校（県）に寄付いたします。よって、県より寄付採納の許可を得、大阪国税局に寄付金控除の確認をお願いしております。この募金の領収書を添えて確定申告されますと同等に対する寄付金としての税務上の取り扱いを受けられます。

この「環境・施設整備募金」（「寄付金控除対象募金」）は、6千万円を目標とし、目標に達し次第募金は停止させていただきます。これは、寄付金控除の対象となるため、国税局の指導上こうせざるを得ません。その代わり、「一般募金」は、4千万円を越えても制限はありませんので、「環境・施設整備募金」で6千万円を越えた分につきましては、「一般募金」に繰り入れさせていただきます。「一般募金」の状況も考慮して、トレーニング

グハウスの一層の整備等にも振り向けさせていただきます。

なお、「環境・施設整備募金」の振込用紙と同時に「一般募金」の振込用紙も再度入れさせていただきます。これは、振込用紙を紛失された方、分割で募金されたい方々のご要望にお応えして、また一度払い込みをしていただいた方で増額をしていただけた場合もごさいますので、こうさせていただきます。すでにご予定の寄付を済ませていただいた方は、どうかご容赦下さい。また、二種類の振込用紙のお取り違えがないようお願いいたします。

これから文書等を送る際、再々振込用紙が入っているかもしれないが、前記のような趣旨ですので、悪しからずご了承下さい。

その他ご疑問の点があれば、事務局までご連絡、お問い合わせ下さい。

封入ミスのおわび

9月初めに、一般募金のお願ひが創立百周年実行委員会から皆様方のお手元に届いたかと存じます。その中に一部封入ミスがございました。ご指摘いただいた4名程の方には改めてご案内致しましたが、この他にも何件かの封入ミスがあったかと存じます。ここに深くおわび申し上げる次第です。封入の中味は、

- ① ごあいさつ文
 - ② 一般募金のお願ひ
 - ③ 一般募金要項
 - ④ 一般募金の振込用紙
- の4点でしたが、いずれかが欠けていた封書があったようです。同窓生諸氏には大変ご迷惑をおかけいたしましたことご容赦ください。なお封入ミスがありました方には事務局まで連絡いただければ、改めてご送付いたしますのでよろしくお願ひ申し上げます。

また、発送は平成9年6月末現在の名簿を基にしております。それ以後住所変更された方は転居先に届いていない可能性もごさいます。このような方もご一報いただければ幸いです。

11月初めには「設備・環境推進募金」も開始されます。なにとぞ皆様方の一層のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

総会詳細報告

本年の総会は来年が創立百周年ということで、「百周年実行委員会」の報告が岡角副会長よりなされました。本紙の別記事に、詳しく報じられていますので、重複は避けませんが、ようやく「百周年実行委員会」の「目玉」が決定したわけです。

本年は役員改選の年です。役員改選は、選考委員会方式を採用。岩崎栄三名誉会長を選考委員長に7人の選考委員が選出され、別室で選考致しました。結果、百周年までは基本的に現役員が続投することになりました。

当日参加された顧問・参事は松山義夫元校長、佐野三郎元校長、南地宜樹前校長、佐藤茂樹衆議院議員、白倉一路県会議員、村木弘富大津市会議員の各氏です。

又、以下の先生方が本校永年勤続者として、表彰されました。鳥井豊美、坂口偉作、澤島博、今宿等、森田光治、辻雅代（以上当日出席）前川文夫、田中政明、高田留治、山口明美（敬称略）

さて、講演会は「成人病（生活習慣病）」とあって、平均年齢が若干高め同窓生諸氏には切実な問題。例年より真剣味が違ふ、と思つたのは編集子の一人よがりではなかったようです。ただ、講師の西尾先生、「酒は百薬の長」と奨励、飲み過ぎなければ（適度であれば）大いに結構とおっしゃり、後の懇親会で早速実践、頬を真っ赤に染めておられましたので皆一安心。但しタバコは百害あって一利なしと厳禁。さすがに講演会場では吸う人はなく、後の懇親会でもタバコを吸う人は多少肩身の狭い思いをしていました。

懇親会（総会）も年を経るにつれ、様々な同窓生が出席されるようになってきました。本年は大正9年卒業の小島信三さんがこれまで出席者の最高年齢を更新されました。（大正9年卒業ですから御年95歳）かくしゃくとした小島大先輩はわざわざ西宮市からお見えになりました。又小島さんは2001年までの会費を前納されておられます。会費を免除させていただきたい位のお人ですが、率先して払っておられるのにはつくづく頭が下がる思いでした。（未納の方よろしくお願ひ致します）

小島さんと大正14年卒の堀江康磨氏（京都から御出席）の二人の大先輩は壇上で紹介され、総会参加者は、盛大な拍手で長寿を祝福、御参加いただいた労苦をねぎらいました。

宴もたけなわになりますと、恒例のビンゴゲーム大会。阪田副会長と織田事業部会長のコンビの元、20歳代から95歳の大先輩まで、それぞれ老若男女が入り乱れて、番号が読み上げる度に一喜一憂。ビンゴが成立すると子供のようにハシヤいで商品を受け取りに馳せ参じていました。

宴を続けたと思えど、時間には限りがあります。参会者は名残りを惜しみながら、来年の再会を約し、二次会あるいは家路へとつきました。

来年はいよいよ百周年。百歳の大先輩から、18歳の新卒者までのあらゆる年齢層の同窓生が一堂に会し、百周年を祝う総会及び百周年の祝典を開催したいものです。

（総務部会）

記念行事式典部会からの お知らせ

「遵義堂」10号でお知らせしてあります予定内容に変更が生じたので、特に次の二点につきお知らせし、ご了解をいただきたいと思ひます。
(なお、あくまで現在のところの予定ですので今後の変更があることをご了解ください。)

一、平成10年11月7日(土) 当日の予定が次のように変わりました。

「式典」(学校が学校行事として行う「記念式典」)

9:30~11:00 リハーサル
(京都市交響楽団と合唱隊)

11:00 受付開始
12:00~12:50 式典
13:10~14:30 記念公演

京都市交響楽団による「ペー
トーベン第9番」の演奏

「同窓会式典(祝宴)」(同窓会が中心となつて行う「祝宴」)

14:30 受付開始
15:30 開宴(18:30頃終宴)

変更の理由は次の通りです。

京都市交響楽団との打ち合わせの中で、演奏会は通常夕刻以後に行われるもので、演奏及び合唱は午前中は絶対無理であるとの指摘を受けました。さらにリハーサルの設定も必要になりましたので、時刻の変更をいたすことになりました。

二、「式典」及び「同窓会式典(祝宴)」の参加者数について。

同窓会が中心となつて行う「同窓会式典(祝宴)」については、その規模が予定総数700人を超えても対応ができます。ぜひとも皆様のご参加をお願いいたします。

しかし、学校が学校行事として行う「記念式典」については、第一候補にお願いしております「びわ湖ホール」は、実際に座席として使用できるのは1712席であり、生徒・旧教職員・来賓・現教職員席を約1400席予定としますと、約300席が残るのみとなります。この席をPTAと同窓会にご利用いただく予定をいたしておりますが、詳細については今後の検討になります。いずれにしても全校生徒を入場させる「記念式典」については、座席の制限があることをご理解ください。



年代別座談会 最終まで開催

(内容については「百年史」に掲載いたします。)

昭和51年卒業(膳所高24回) 昭和61年卒業(膳所高34回) 体育祭・文化祭・共通一次 とにかく変化の時代

日時 平成9年6月21日(土) 14時~17時
場所 膳所高校(クラブハウス)

出席者

- 浅田 嘉克 (膳所高24回)
- 市木 邦美 (膳所高25回)
- 橋詰 雅章 (膳所高25回)
- 岡澤 則子 (膳所高26回)
- 岩崎 (膳所高27回)
- 小野寺和徳 (膳所高27回)
- 松里 淳子 (膳所高28回)
- 吉田ゆかり (膳所高29回)
- (石原) (膳所高29回)
- 宇田 賢一 (膳所高30回)
- 牟田 敦子 (膳所高31回)
- (山崎) (膳所高31回)
- 江口 辰之 (膳所高32回)
- 山田 喜明 (膳所高33回)
- 水垣源太郎 (膳所高34回)



昭和62年卒業(膳所高35回) 平成9年卒業(膳所高45回) 受験優先で学園祭が変動 球技大会も年1回に

日時 平成9年7月19日(土) 14時~17時
場所 膳所高校(クラブハウス)

出席者

- 井上 康正 (膳所高35回)
- 舟橋 秀晃 (昭和63年卒)
- 足利亮太郎 (膳所高36回)
- 板倉殿一郎 (膳所高37回)
- 藤本 健太 (膳所高38回)
- 的場 啓志 (膳所高39回)
- 糸井 良太 (膳所高40回)
- 池田 洋介 (膳所高41回)
- 植村 渉 (膳所高42回)
- 吉田 量久 (膳所高44回)



7月19日開催の第7回座談会でもって、年代別座談会を終了いたしました。現在、お話しいただいた内容を要約し、「百年史」に掲載すべく編集を進めております。ご多忙のところ座談会にご出席いただき、貴重な体験談をお話しいただいた皆様方に心から御礼申し上げます。なお、歴代校長座談会から出席いただき、テープ起こしをさせていただいております伊丹市のフォノライター神崎文江さんは、本年1月急逝され、スタッフの上田富子さんに後を引き継いで要約作業を進めていただいております。誠に謹んでご報告申し上げますとともに心からご冥福をお祈りいたします。

百年史の販売について

名簿調査カードをご送付いたしました際に、百年史購入の有無をお尋ねいたしましたところ、多

数の方々から内容や価格についてのお問い合わせをいただきました。本アンケートは百年史の制作数を検討するための予備調査を目的として掲載をさせていただきましたが、表現が不適切で皆様方に多大のご迷惑をおかけいたしましたこと心からお詫び申し上げます。(購入を検討する「不要」と表示させていただくべきであったと反省しております。)購入するに○印をお付けいただいた方には平成10年5月~6月頃に再度正式案内をさせていただきますので、この際に正式に購入申込をお願いいたします。

内容については、本「JUNGIDO」10号でもご紹介させていただいておりますが、ここに再度概要を記させていただきます。

①創立から現在に至る教育制度、カリキュラム、学校行事の変遷を含めての沿革を記した教育史。

②年代別座談会の要約、班(クラブ)報告を記した同窓会史。

③目で見ると100年写真集。
以上3項目を1冊にまとめ、総頁400頁前後の記念史を来年10月に発刊すべく、編集作業を進めております。

販売価格は、総頁数が確定しておりませんが、現在のところ未定ですが、4千円から5千円程度を考慮しており、購入者には指定のご住所に直送する予定であります。来春発行の「JUNGIDO」12号では、価格、販売要項など詳細についてご案内させていただきますので、この時点でよろしくご検討いただければ幸いです。

班(クラブ)活動報告について

前述の同窓会史編に掲載する班(クラブ)活動について、現存する班をもとに、掲載記事のお願いをいたしております。既に原稿をお届けいただいた班も多数ございますが、未入校の班につきましてもよろしくご協力のほどお願い申し上げます。なお、現在廃部となつております班(クラブ)についても、お申し出いただければ掲載させていただきますので、ご一報お願いいたします。字数等に限りがあり、掲載要項をご送付申し上げますので、よろしくお願ひ申し上げます。



周年記念同窓会



50周年記念同窓会(膳所45回卒業)

平成9年2月24日付並びに膳所高同窓会報JUNGLIDO VOL10(4月15日発行)でご案内しました50周年記念同窓会開催については、同窓会出席61名(膳所高総会出席16名含)、欠席通知58名、返信なし68名(計187名)でありました。お陰様で同窓会は盛會裏に終わり、楽しい一時を過ごすことが出来、更に寿命が延びた心地がいたしました。ただ、当初幹事会で計画しておりました膳所高同窓会総会に多数参加し恩師の先生方、先輩、後輩の皆さんとの懇親を深めたいとの希望が果せなかったのが少し残念でありました。また、50年記念誌発行につきましては85名の寄稿をいただきましたが、出版社の協力等もあり7月31日納品され、早速、諸兄に配布いたしました。その中で少なからずショックを受けましたのはN君から直ちに記念誌が返品されて来たこと、またU君の妻君からは「主人は病気のため読める状態では現在のところありません。」との事……N君の場合理由は種々有ると思いますが非常に残念な気がします。が、U君のように日頃ご無沙汰の方が多く私達にとって身につきまされる思いがいたします。やはり健康が第一です。記念誌を拜見しても随分と健康に留意されているのを垣間見ることができ励まされております。30年記念同窓会にスコッチ先生が「同級会は2人残るまで行うことに意義がある。」と言われたのを思い出します。来年はいよいよ膳所高創立百周年の目出度い年でもあり、今年と同じ計画で同窓会開催を予定されているようですので元気に参加できることを楽しみにしております。

追記 50年記念誌が少々余分がありますので蔵書の一冊に加えてやろうと思われる方は申し込みください。1部3800円(送料込)です。
(事務局幹事 澤 善伍)

膳所三七七会(昭和14年卒業)の集い

我々も学び舎を巣立ちてより来年は60周年になり奇しくも膳所高創立百周年の記念すべき年と重なり、齢正に77歳、既に喜寿を超え愈々老境に入らんとしている。現在会員は四修三修の人を含めても66名で卒業時の半数にしか過ぎず誠に感慨も一入である。顧みれば過ぎし半世紀は未曾有の激動期に直面し我が国危存亡の岐路に立たされた時期で、多くの級友が之に殉じたのである。我々は毎年クラス会を行い今年も老師縣(旧姓上村)格二先生を浜松から迎え、20数名の級友が集い旧交を温めたが、来年は60周年を記念し亡き級友の冥福を祈ると共に幸い今日迄健在である者がその存在をアピールしたいと念願し盛大に三七七会を行いたいと考えている。最後に膳所高の発展と有為な人材の輩出を願ってやまない。
(清水仙太郎記)



昭和34年卒業(膳所高7回)同窓会

私たちは25周年、30周年の同期会をして以来、毎年集っています。働き盛りで多用な日々の仲間なので、忘れずに予定に組み込めるようにと開催

日は毎年9月の第2日曜日。回を重ねて38周年の今年は9月14日に京都第2タワーホテルに集いました。

「混雑のうらみ……」これなら眼鏡がなくてもいいわと言いつつ、大きな文字で印字された歌詞を見て校歌の大合唱が終るとたちまちタイムスリップ。(テープは校友課でお借りしました。)

そして、びわこ周航歌のメロディと共に23名の物故者を偲びました。

出席者は担任の山本、久保、北条、岡田先生はじめ7人の先生方をお迎えして総勢50名。習志野、東京、横浜からの3名も含め卒業以来初めてという方が8名も参加されました。心を馳せながらもやむなく欠席という方々240名の返信葉書きも仲間に入れて、なつかしい青春の思い出や、仕事の話、子供達や孫の話、第二の人生設計や趣味等々、食べるのも忘れるほど話が弾みにはずんで5時ごろまで、和気あいあいの楽しい時を過ごしました。

幹事は毎年参加者の中から3名ずつ指名し、簿管理と葉書きの印刷発送の事務をずっと引き受けてくださっている川那辺氏に心から感謝したいと思います。今年も立派な名簿を作成して参加者に配布していただきました。



(前田、三木、川辺)

船上35周年同窓会(膳所高10回卒業)

平成9年4月13日(日)、我が膳所高第10回卒業生は35周年記念同窓会を、琵琶湖汽船の豪華客船ピアンカを借り切り開催いたしました。当日は桜満開を予想してこの日を一年前より決めておりましたが、



今年の桜前線は例年より早く、残念ながら湖中よりの花見とはなりませんでしたが、春うららかな最高の天候に恵まれ、ある人は船中で酒を酌み交し、また、ある人はデッキで日光浴をと、琵琶湖ならではの同窓会となり、遠方よりの友はもちろん、地元の我々も大変贅沢なひとときを過ごす事ができました。酒に酔わず船に酔うのではと心配しましたが、誰一人そのような人はおらず、全員無事下船しました。出席状況は、恩師の先生方が7名と、生徒137名でした。二次会、三次会と名残は尽きず、次回の再会を約束して終了いたしました。

(白井 勝好)

真珠会 昭和24年卒業(旧大津)

私達の真珠会も今年で8回目。6月5日開催。はしり梅雨で気がかりだった天候も当日だけ快晴に恵まれ(翌日は又雨)恩師松山先生をお迎えし、昔の美女16名が集いました。

さて今回は、ちょっと趣向を変えて、初めに京大総合博物館を見学しました。此処の一般公開は春・秋の各2ヶ月間だけなので、先生始め皆様にも喜んで頂けて本当に良い機会だったと思っております。

そのあと京大大会館に移動し、玄関前にて記念撮影、一同パーティ会場に入り、毎回級会出席の楽しみの一となっており、先生のお話を拝聴後、フランス料理のフルコースを頂き、日頃は60代半ばのおばあちゃんも、この時はやはり、タイムスリッブして今が青春真只中と光り輝き、和気あいあいの歓談に花が咲き、本当に楽しい一日を過ごす事が出来ました。来年の再会を約し、お名残り惜しいお別れをいたしました。

(鈴木梅子)



木村善光先生を囲む会

膳所高29回(昭和56年卒業)3年7組

担任していただいた木村善光先生のご退職をお祝いして5月4日、大津プリンスホテルに30名が集まりました。これは、1年間で合計6冊にもなった3年7組の当時の「学級日誌」を、先生がご退職の記念として「混雑の湖」と題し、出版して下さったことへのお礼の会でもあります。

戴いた本を手に先生をお囲みして、懐かしく、でもちよつと気恥ずかしい日誌の記事に赤面しながらも、思ひ出話、近況に、と大変盛り上がりました。

当日は木村先生のお誕生日でもあり、ケーキを前にハッピーバースデー。先生が教育を志された出会い、サッカーに情熱を燃やされた日々、学校でのいくつかの出来事を、一こま一こま心をこめてお話くださるのを伺いながら、なんとなく16年前の教室に戻ったような、新鮮な、ちよつと背筋の伸びる思いがしました。奥様からは、ご家庭での先生の温かいお姿と、学校一筋だった毎日のご様子などを伺うこともでき、心に残る会となりました。

(森山(田中)由紀子)



第7回野球部対八商OB戦

平成9年8月31日(日)、午前9時から本校グラウンドで膳所高対八幡商業高等学校OB戦が開催された。毎年8月最終日曜日に行われ今年で7年目。両校合わせて110名が参加。78歳のOBの始球式で開会。壮年組(55歳以上)、成年組(35歳以上)、青年組(18歳以上)とあり、各組一試合ずつ制限時間内で試合。力と



技を競いあった往年の名選手たちが今は残暑の中、ゲームそのものと人との出会いを楽しんでいた。ヒット、好プレーには勿論、三振、凡打、エラーにも「ハイハイハイ!」と歓声と拍手。ボールが二つに見える位と併走を楽しみOBの姿も見られ時間がゆつたりと流れているようだった。ソフトボール部のOGたちも応援に花を添えていた。成績は1勝2敗で残念だった。後は合同懇親会。お疲れさまでした。来年もお元気で。

(花坂)

フットマークリレー

五月晴れの18日、障害者と健常者の交流を深めようと「びわこ一周フットマークリレー大会」が行われた。昭和38年卒同窓会は大会主催者の一端を担い、瀬田唐橋から堅田真野浜までの25K・7区間を障害者ととも語りながらリレー式で歩き、無事完走(歩)することができました。同窓ハイキングの色合いが強いものとはなりましたが、障害を持つ人とのふれあいを通じ、いろいろと教えられることの多かった一日でした。

(小笠原 勇)



30周年記念同窓会(膳所高14回)

気分は青春!

「団塊の新段階」たのしく、粋に!

正月気分も抜けない1月4日、少々遅れ気味ではあったが、何とか96年度中と呼べるこの日に、260余名が集まり、昭和41年卒業の同窓会を開いた。

1月4日が土曜日。暦にも恵まれ、正月に帰省している同窓生も多く参加でき、本当に盛大な宴となり、天候にも恵まれて楽しい一日を過ごすことができた。

同窓会と呼び掛けがあれば参加するものと考えている同期の者が多かったのか、誰に出会っても



役員を決めてくれたので、ようやく同窓会が開催できた。女性陣に感謝!感謝!

我々は戦後間もなく誕生し、人数の多さゆえに「団塊の世代」と呼ばれ、高度経済成長の真ただ中で育った。学園紛争や二度の大きなオイルショックを経験しながらも、「自分の価値観」を大事にして生きてきた。

やりたいことをやってきた我々は、いよいよ五十歳の節目を迎え、ただ単なる同窓会ではなく、これからの変化する社会に対応した生き方を探る機会にしたいと、青臭く「団塊の新段階」たのしく、粋に!というテーマを設け、大いに語り合おうと考えた。

恩師の松山先生からも、祝辞の中でこのテーマについて「五十才を迎える君たちが様々な苦しみや内に秘めて、楽しく生きていくことこそが今回のテーマのたのしく、粋に!ということである」と高校時代の授業を彷彿させる語り口で、お話しいただいた。(しかし「今日は「たのしく、粋に」生きるための命の洗濯の日である」ということも)そうして、懇親会が始まると、会場はただただ懐かしさいっぱい同窓会になってしまい、「気分は青春!」と青春時代の友情と連帯感の再確認のオンパレードで、必ずしもテーマを設けた同窓会の当初の趣旨どおりではなかったかも知れないが、結果としては大成功で、二次会にも一次会出席者の八割近くが参加し、新たな活力を身体いっぱい感じた一日となった。

二十一世紀の初年、西暦2001年には、卒業35周年が巡って来る。30周年同窓会のおかげで、次からの再会のきっかけを作れて心から喜んでいる。

(実行委員長 藤村 洋二)

本文は、VOL10での報告の際、編集ミスにより、前後文章が欠落いたしましたので再掲載いたしました。ここに謹んでお詫びいたします。

予告

周年同窓会

30周年記念同窓会

昭和42年卒業(膳所高15回)

お待たせしました、やりました!

平成10年1月3日(土) 午後1時~4時

●大津プリンスホテル

●詳細は別途連絡

世話人 岩崎 正康、沢井 進一、中村 光信、

大久保 徹、鷹羽 強、須佐見純一、

猪飼 祥夫、久保 正一、澤島 博、

玉川喜代子、山元 孝子、近藤 富子、

(井狩) (北川) (田中)

鷹羽美栄子

(草野)

膳五会40周年記念同窓会

昭和32年卒業(膳所高第5回)

●平成9年11月24日(振替休日)午前11時30分より

●大津プリンスホテル「淡海758」

●大津市におの浜4丁目7-7

TEL 077-521-1111(代)

●会費 15,000円

●当日会場で申し受けます

膳六会40周年記念同窓会

昭和33年卒業(膳所高第6回)

●平成10年8月15日(土) 正午(受付11時)

●琵琶湖ホテル(大津市柳が崎)

事務局 伊藤欣士

TEL 077-524-8039

FAX 077-524-8189

50周年記念同窓会

昭和23年卒業(膳所高第46回)

●平成10年4月12日(日)

●船岩(大津石山)

●12月下旬詳しくご案内します

連絡係 田中 健一

TEL 077-552-2927

(7頁上段につづく)

